

京 東 屋

大正七年創業



2017年

日本一



京屋染物店 蜂谷 悠介氏

「kintone AWARD 2017」グランプリ受賞企業講演レビュー



現在は有償契約の顧客が750社を超え、毎月200~300社のペースで導入が増え続けているkintone。そのkintoneを活用して行われた業務改善ノウハウを、ユーザー同士で共有しあう場として始まったkintone hiveは、今では国内のみならず海外でも開催されるなどグローバルなユーザーの輪とて広がりを見せている。

今回は幕張メッセで行われたサイボウズイベント「Cybozu Days 2017」の会場にて同時開催された「kintone AWARD 2017」で、見事グランプリを受賞した京屋染物店（岩手県）が挑んだ業務改善事例を紹介する。

# 創業100年の和装染物店が挑んだ業務改善



株式会社京屋染物店



大正8年に創業、2019年には創業100年を迎える京屋染物店は、先代社長までは縫製工程を外注し、染色のみを担う家内工業だった。しかし、先代の跡を継ぎ現社長となった蜂谷氏は、「お客様の声をそのままのつくりで反映させたい」、「縫製の技術を若い世代にも伝承していきたい」という強い思いを持っていて、染色以外の業務も内製化を図り、現在では営業・デザイン・縫製・染色の4部署で、16名の従業員を抱えている。



デザインから染め、縫製まで1枚からでもオーダーメイド(京屋染物店) <http://www.kyo-ya.net/>

## 高額投資をしたシステムは使わずじまいに

業務の内製化により、営業・デザイン・縫製・染色の複数部署を抱える体制から、部署間での情報共有が上手く行えないという課題に直面することになった。「お客様からいただいたご注文の納期や、工程の進み具合がとも見えづらく、

全部の部署で納期を見長積もっていました。「最短〇日でお届けできます」といった対応ができず、商機を逃していました。」と、蜂谷氏は語る。この状況を課題に感じた蜂谷氏は、とあるITシステムの導入を決意したが、現場からの評判は芳しいものではなかった。「私の要望を元に仕様をガッチと決め



## 徹底した業務課題の洗い出しと現場に合わせたシステム構築で創業以来最高の売上を達成

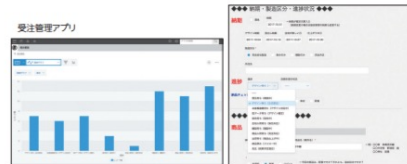
て構築してしまったため、システムが使いつづらく、だんだんとみんなが入れかえしてくれなくなっていた。」

### 考えあぐねていた時kintoneに出合う

この失敗を踏まえ、蜂谷氏はシステム構築に対する発想を大きく転換する。kintoneを使い、今までトップダウンでシステムの仕様を決めていたものを現場主体のボトムアップに切り替えたのだ。「トップが「やりたいこと」ではなく「現状の課題の洗い出し」が起点となってシステムを構築した」と蜂谷氏は語る。

「できるだけ現場の社員の声を反映したいと思い、仕様を決めるディスカッションには社員にも積極的に参加してもらい、業務課題を洗い出してkintoneアプリに反映していきました。」

現在は、販売管理に関する全ての業務をkintoneで行っており、欠かせない存在となった。特に、受注管理アプリは改善効果が高く、製品の最終納期や部署ごとの納期が正確に把握できるように。また、進捗は部署ごとにグラフで表示されるので、どの部署で業務が滞留しているかが一目で分かるようになった。



### 残業ゼロと過去最高の売上を達成

kintoneの導入で、部署ごとの業務進捗が可視化できるようになり、負担の大きくなっていく部署を他部署が手伝うなどの協力体制が社内で自然に生まれた。さらに、正確に納期を把握できるようになったことで、余計な在庫がなくなりスペースが半分になった。これにより、作業場が広くなり作業効率が改善。結果として大幅な納期短縮を実現した。

「皆がどれくらいの仕事を抱えているかを正確に把握でき、正確に納期を見積もることができるようになりました。納期の短い注文が入った時もおおけるケースがグッと増えました。」

また、商材ごとの売上、原価管理が正確に行われたため、注力商材が一目で分かるようになり、広告宣伝費を効果的に使えるようになった。

業務改善が功を奏し、kintone導入後の繁忙期の売上は例年の1.5倍を記録。創業以来最高の売上を達成した。

「今までは考えられない収益でした。反面、業務時間は短縮され、以前は夜中の12時過ぎまで残業していたのが、今はほとんどの社員が17時には終業しています。」



これからの展望としては、kintoneのデータを活用して、売上分析に注力すること。kintoneを中心としたIT活用で、伝統産業を盛り上げていく同社の発展に今後注目したい。

### 京屋染物店 蜂谷 悠介氏よりコメント

グランプリ受賞をとても嬉しく思います。最高の仲間と一緒に迎えたこのアワードの場で、これまでの活動を周囲の方々に認めていただけたことはとても幸せなことです。最初はアナログな方法でコツコツとやっていた会社でしたが、今更kintone活用に取り組み、そのみんなの努力が報われた瞬間だと感じました。



### 審査員長の評価

伝統的産業は、チームのつくり方によっては伸びしろがあり、成果が出るという好例にとっても事例もたくさんあった。だからこそ、現場ととっての強みも大きい。もともと良好な文化が共有されていたのが、kintoneによって顕在化したケースだと思います。こういう活用例が日本の問題を解決するでしょう。(橋本 雄氏)



kintoneによる業務改善ノウハウは「kintone hive」開催レポートで <https://kintone.cybozu.com/jp/event/hive/report.html>

お問合せ：サイボウズ株式会社 <http://cybozu.co.jp>



# 働きがい高め榮譽

一関市大手町の京屋染物店(蜂谷悠介代表)は、社員の幸せや働きがいを大切にし、社会貢献に努める企業を表彰する第7回ホワイト企業大賞(同大賞企画委員会主催)で、最高賞の大賞に輝いた。社員一人一人が仕事を「自分ごと」と捉え、自発的に取り組む環境づくりが評価された。蜂谷代表(43)は「さらに社員が自己実現できる舞台をつくっていきたい」と決意を新たにす。

## 一関の京屋染物店



### 「ホワイト企業」全国大賞 社員の自発性を尊重

ホワイト企業大賞の受賞を喜ぶ蜂谷悠介代表(左)と庄子さおりさん

調こ考は 組会ら家たるD 感にて戦(3) 當 成互勉しI 夕安実のツ 3 30 夕

同大賞は2014年(平成26年)から毎年約100社が応募し、約10社が大賞に選ばれた。同社は同業種では初めて大賞を受賞した。社員が自発的に取り組む環境づくりが評価された。蜂谷代表は「さらに社員が自己実現できる舞台をつくっていきたい」と決意を新たにす。



# ホワイト企業大賞



# 伝統産業DXで コロナ禍業績向上

～創業104年の伝統企業が挑んだ  
モノづくり現場のデジタル化の軌跡～

株式会社京屋染物店 代表取締役 蜂谷悠介

ソフトパワー研究所認定TOCジュニアインストラクター

西研究所認定 MGインストラクター

**衰退産業**

**環境最悪**




**赤字経営**

**閉店・倒産**

深夜残業

休みなし

幸せに向かって  
いる  
気がしない



有給ゼロ

焦り不安



制約理論

ゴールドドラット

**TOC**

kintone

**ICT**

クラウド型DB

戦略MQ会計

**MG**

西順一郎



◎京東屋 × TOC ICT MG

残業 ↓

休日 ↑

有給取得 ↑

産休育休 OK!

求人 ↑

やすらぎ

最高益



# 2011年の工場

汚い、癒されない

余裕が無い

とにかく居心地が悪い



システム導入  
費用100万円





何のために働くの？

京 東 屋

私たちの

私の

目的

和の追求

ビジョン

目標設定

2020 21 22 23 24 2025 26 27 28 29 2030

計画化

# プライベートはハピネス ビジネスはサクセス ゴールを明確にする



# kintone

導入したけど、  
やっぱり使って  
くれない





営業



デザイン

助けるという

感覚が無い



染色



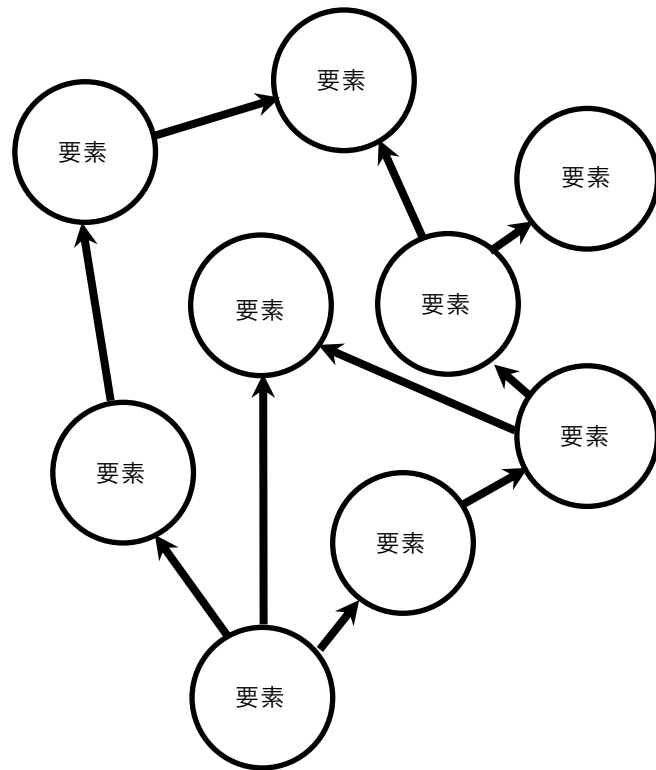
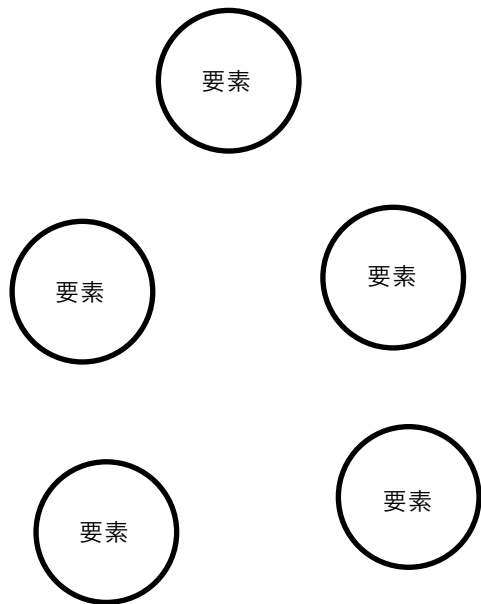
縫製



# TOC

部分ではなく全体の適正を考える  
チーム全体での助け合いが生まれる  
問題解決策をすっきりシンプル  
に考えられる  
業務改善が促進されます

# どちらのシステムが複雑か？



# この会社は1時間に何個売れるか

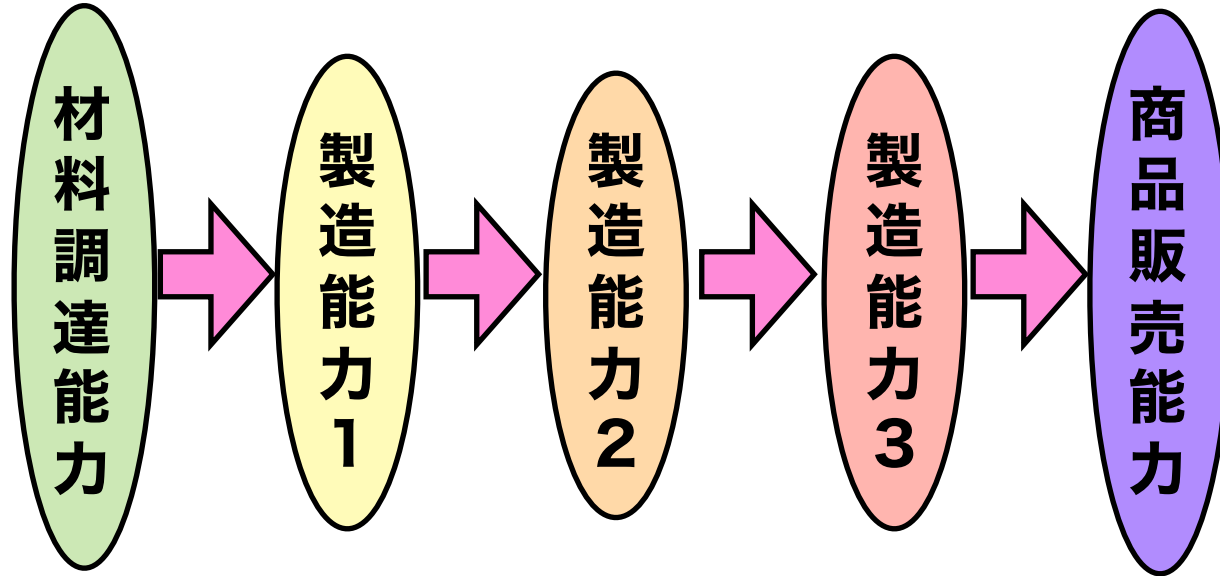
10個/h

7個 /h

5個 /h

7個 /h

10個 /h



**ボトルネック以外の  
「改善」 「努力」 「投資」  
は効果なし**



**kintone**

日々の実践の見える化

京東屋

📊
▼
🔄
進捗グラフ
▼
🔍
||

+
⚙️
⋮

縦棒グラフ
▼
集合
▼



忙しいんだ!



# 行程の進捗

進捗グラフ

縦棒グラフ

集合

14



# 助け合い

デザイン待ち (正式受注)    お客様連絡待ち (デザイン対応中)    型データ待ち (デザイン確定)    染色待ち (染色中)    生地入荷待ち (染色外注)    縫製待ち (縫製中)    商品入荷待ち (完全外注)    出荷待ち (検品仕上げ中)

営業

デザイン

染色

縫製

出荷

## 行程の進捗



営業



デザイン

結果がわからない



染色



縫製





**MG**

**経営学、会計学を  
楽しく学ぶ**



# マネジメントゲーム 西順一郎

# MG

1975~  
1976年4月に開発

やってみなければわからない

経営学



ゲーム化



行入

会計学



理入

遊びながら覚えられる

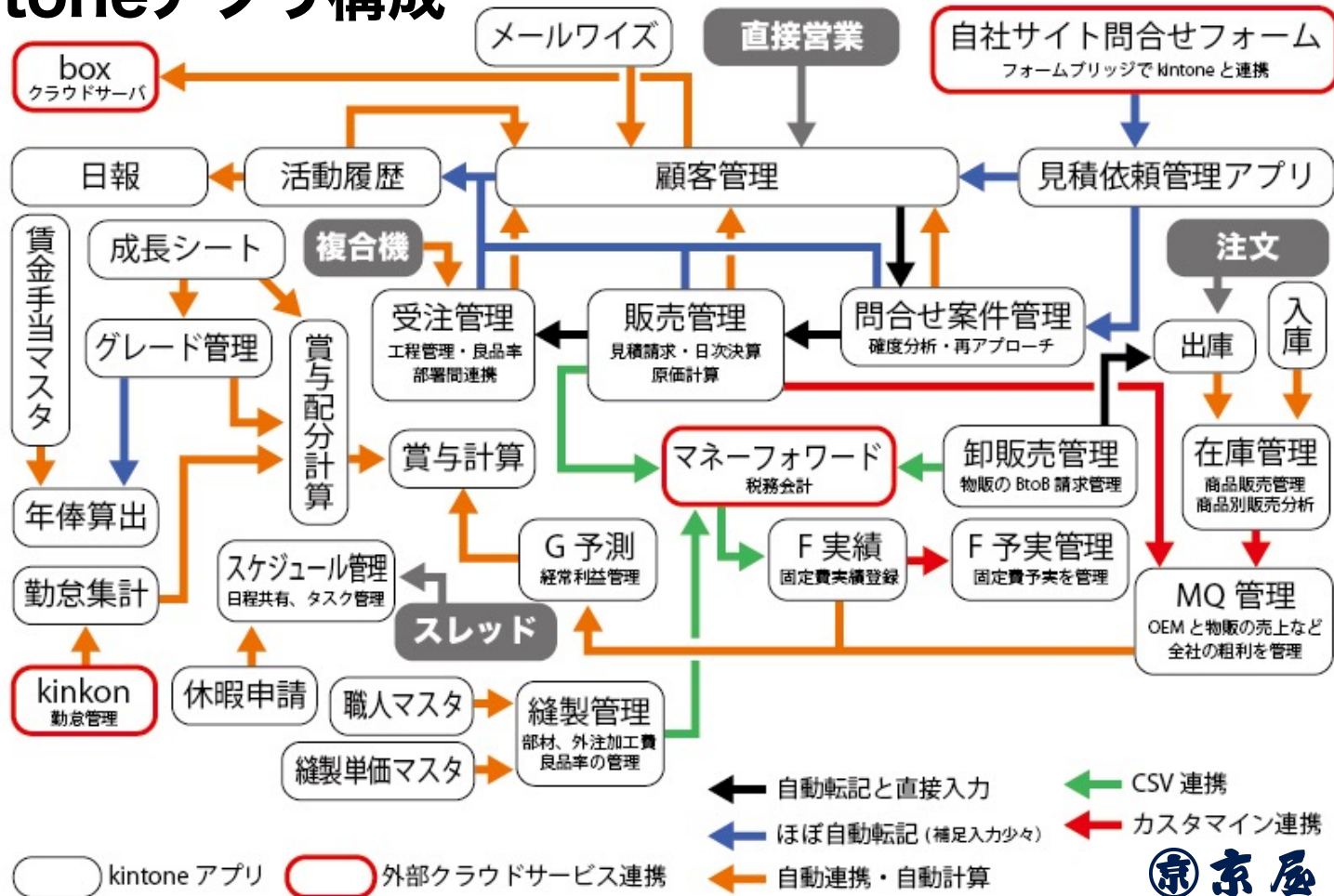


成果が  
すぐわかる

# MG、TOC開催スケジュール

- 2月18～19日(金土) : 仙台のうまいもんMG(柴田)
- 2月24～25日(木金) : いちのせきTOC(蜂谷、庄子)
- 3月14～15日(月火) : いちのせきMG(蜂谷)
- 4月14～15日(木金) : いちのせきMG (蜂谷)
- 4月23～24日(土日) : 青根MG(蜂谷、舟嶋)
- 5月21～22日(土日) : 安比MG(柴田)
- 5月26～27日(木金) : いちのせきMG (蜂谷)
- 6月18～19日(土日) : いちのせきMG (蜂谷)
- 8月26～27日(金土) : いちのせきTOC(庄子、蜂谷)

# kintoneアプリ構成



- 
- 書類が減ってスペースが空いた
  - 探す時間が減った
  - 誰かに確認する時間や  
待っている時間が減った
  - 欲しい情報をすぐに分析できる
-

# 改善されたこと

- ・ 在庫が減って、スペースが空きました。
- ・ キャッシュフローが良くなった。
- ・ 業務拡大のため、規模が縮小されました。
- ・ 仕事に余裕があるので、短納期対応ができる。
- ・ 常に業務改善が行われ、残業が殆どなくなりました。

**情報格差をなくし  
主体性を育む**



# PDSサイクル

